

生命科学研究を考えるガチ議論

日 時：12月5日（木）18:00～20:00

会 場：第6会場（神戸国際会議場1階 メインホール）

600人収容の大会場です。是非、生命科学の明日を決める？会にご参加ください。

組織委員会企画のひとつの目玉である「ガチ議論企画」です。そもそものアイデアは、「夜の飲み会的话题をメインテーマにしてしまおう」というものです。学会に来て、旧知の仲間と酒を飲むのは、学会の存在価値のひとつと言っても良いと思います。でも、話の多くは、大学や研究費や文部科学省に対する不満だったりします。オーケー、それを企画にしてしまおう。愚痴というのは、ストレス解消にはなりますが、生産性がありません。愚痴を意味のあるものにするのはどうするか？そうです、愚痴の対象の目の前で言えば良いのです。おそらく我々が愚痴をこぼす最強の強敵（とも）は文部科学省です。「文部科学省の役人は何を考えてんだ？まったく！」と嘆いたこと、星の数ほどあるでしょう。だったら、彼らに直接ぶつけてみるのはどうでしょう？どうせ文句を言うのなら、居酒屋で身内ではなく、本当に相手にぶつけてみましょう。なにかが生まれるかもしれません、というか、ちゃんとしたコミュニケーションを取らない限り、良いものは生まれません。文部科学省の科学技術改革タスクフォース戦略室のメンバーの協力をいただいております、ネット上で、さらにはオフ会？で議論が始まっています。

年会当日の本番では、我々生命科学者と行政サイド（文部科学省官僚、国会議員？、文部科学大臣？、？？？）が、がっぶり4つに組んで、今後の生命科学研究はどうあるべきか、を話し合います。実際に誰が参加するかについては、この原稿を書いている時点で確定しておりませんので、ガチ議論 HP か年会 HP をご参照いただければ幸いです。当日の進行は、「若手の就職問題」「研究費配分問題」「科学行政の意思決定の仕組み」などに対し、研究者サイドが具体的な提案をし、それらの案に対して、行政サイド、研究者サイドが、実現性・有効性を話し合う、という形になる予定です。何か良いアイデアをお持ちの方、是非ガチ議論 HP に投稿をお願いします。

参考：ガチ議論 HP

<http://scienceinjapan.org/>